(平成21年1月分)

部 門	市況の概要
野 菜	<p>1月期の野菜の入荷状況は、葉菜類が長引く低温によって入荷減となり、果菜類は低温によって遅れていた分が今月に集中して入荷増となった。また、根菜類、土物類は概ね順調な入荷状況であり、なかでも根菜類については作柄不良ながらも中央集散機能の発揮によって入荷の減少は見られず、野菜全体の入荷量としては前年並みとなった。</p> <p>価格は、入荷増となった果菜類や、入荷状況が安定していた土物類では単価安となったが、低温等の影響により全国的な品薄状態にある根菜類、葉菜類が大幅な単価高となり、野菜全体としては前年同期を16%上回った。</p> <p>品目別には、長大根、キャベツ、ほうれんそう、レタス、ピーマンが入荷減の単価高、かぶら、きゅうりが入荷増の単価安となり、西洋にんじん、はくさい、トマトは入荷増の単価高となった。また、なすは入荷増の単価前年並み、ばれいしょは入荷前年並みの単価高となり、玉葱は入荷前年並みの単価安となった。</p> <p>根菜類は、入荷が前年並みで、価格は27%高となった。 葉菜類は、入荷が7%減少し、価格は40%高となった。 果菜類は、入荷が13%増加し、価格は3%安となった。 土物類は、入荷が前年並みで、価格は3%安となった。</p>
果 実	<p>1月期の果実の入荷状況は、多くの品目が入荷減となり、いちご類が年末の低温によって生育の遅れていたものが今月に集中して入荷増となったが、果実全体の入荷量としては前年同期を6%下回った。</p> <p>価格は、柑橘類、メロン類が入荷減によって単価高となり、りんご類、いちご類など下位等級の割合が高かった品目は単価安となったが、果実全体としては前年同期を7%上回った。</p> <p>品目別には、みかん、アールスメロンが入荷減の単価高、王林、いちご類は入荷増の単価安となり、ふじりんごは入荷減の単価安となった。</p> <p>柑橘類は、入荷が4%減少し、価格は36%高となった。 りんご類は、入荷が15%減少し、価格は18%安となった。 いちご類は、入荷が4%増加し、価格は7%安となった。 メロン類は、入荷が17%減少し、価格は8%高となった。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】	
長大根	<p>徳島県，長崎県を中心に，和歌山県，神奈川県，鹿児島県からの入荷。各産地とも低温等によって生育が遅れ，細物中心の入荷であったことから，入荷量は前年同期を7%下回った。</p> <p>価格は，全国的な品薄状態に加え，業務加工用の需要が高く，前年同期を49%上回った。</p>
かぶら	<p>京都府を中心に，滋賀県からの入荷。生育期の低温等により肥大が遅れていた分が今月に集中入荷し，入荷量は前年同期を28%上回った。</p> <p>価格は，入荷増により前年同期を9%下回った。</p>
西洋人参	<p>長崎県を中心に，鹿児島県，愛知県，鳥取県，千葉県からの入荷。低温等により作柄が悪かったものの，長崎県産の冷蔵物の入荷が集中し，入荷量は前年同期を11%上回った。</p> <p>価格は，入荷増ながら，前年が単価安であったことと上位等級を中心とする入荷であったことから，前年同期を25%上回った。</p>
【葉菜類】	
はくさい	<p>兵庫県，愛知県，滋賀県，鹿児島県，茨城県からの入荷。</p> <p>各産地とも生育期の低温等により作柄が悪く，小玉傾向であったものの，中央集散機能が発揮され，入荷量は前年同期を3%上回った。</p> <p>価格は，全国的な品薄状態から単価高で推移し，前年同期を46%上回る結果となった。</p>
キャベツ	<p>愛知県を中心に，大阪府，滋賀県，兵庫県，和歌山県からの入荷。各産地とも生育期の低温等により作柄が悪く，小玉傾向での入荷となり，入荷量は前年同期を7%下回った。</p> <p>価格は，全国的な品薄状態から極端な単価高となり，前年同期を72%上回った。</p>
ほうれんそう	<p>京都府，徳島県を中心に，茨城県，滋賀県，鳥取県からの入荷。</p> <p>主力の京都府，徳島県とも低温等により作柄が悪く，入荷量は前年同期を21%下回った。</p> <p>価格は，全国的な品薄状態から極端な単価高となり，前年同期を64%上回った。</p>
レタス	<p>兵庫県を中心に，徳島県，長崎県，愛媛県，香川県からの入荷。</p> <p>各産地とも長期間の低温等により作柄が悪く，小玉傾向での入荷となり，入荷量は前年同期を19%下回った。</p> <p>価格は，全国的な品薄状態に加え，業務加工用の需要が集中したことで，前年同期を111%上回る結果となった。</p>

<p>【果菜類】 きゅうり</p>	<p>宮崎県を中心に，高知県，愛媛県，滋賀県，徳島県からの入荷。 各産地とも上旬は日照不足の影響から入荷減で推移したが，中下旬から入荷は回復し，全体の入荷量としては前年同期を12%上回った。 価格は，中下旬から潤沢な入荷となったことで単価安となり，全体としては前年同月を23%下回った。</p>
<p>なす</p>	<p>高知県を中心に，岡山県，徳島県からの入荷。各産地とも低温による生育遅れが見られたものの，高知県からの入荷が京都市場へ集中し，入荷量は前年同期を13%上回った。 価格は，全国的に品薄状態であるものの，入荷増により前年並みとなった。</p>
<p>トマト</p>	<p>熊本県を中心に，福岡県，京都府，佐賀県，高知県からの入荷。 各産地とも低温によって生育が遅れていたものの，中央集散機能の発揮により，入荷量は前年同期を16%上回った。 価格は，入荷増ながら，全国的な品薄状態によって前年同期を12%上回った。</p>
<p>ピーマン</p>	<p>宮崎県を中心に，高知県，鹿児島県からの入荷。主力の宮崎県では低温や日照不足により果実肥大が悪く，入荷量は前年同期を19%下回った。 価格は，入荷減により前年同期を11%上回った。</p>
<p>【土物類】 ばれいしょ (メーク含む)</p>	<p>北海道を中心に，長崎県からの入荷。両産地とも小玉傾向での入荷であったものの，入荷量は前年並みとなった。 価格は，小玉傾向での入荷ながら，前年が大幅な単価安であったことにより，前年同期を9%上回った。</p>
<p>たまねぎ</p>	<p>北海道を中心に，兵庫県からの入荷。両産地とも豊作傾向であったものの，前月に続く価格低迷によって入荷が進まず，入荷量は前年並みとなった。 価格は，需要の低迷により前年同期を10%下回る結果となった。</p>
<p>【その他野菜】 生しいたけ</p>	<p>徳島県を中心に，広島県，岡山県，和歌山県からの入荷。 広島県での増産以降安定した入荷状況であり，入荷量は前年並みとなった。 価格は，寒波によって一時的に需要が高まり，全体としては前年同期を4%上回った。</p>

主要品目（果実）	市況の概況
みかん	<p>和歌山県を中心に、福岡県、愛媛県、大阪府からの入荷。 本年は裏年に当り、入荷量は前年同期を7%下回った。 価格は、全国的な品薄状態に加え、上位等級を中心とする入荷であったことから、前年同期を56%上回った。</p>
伊予柑	<p>愛媛県を中心とする入荷。 本年は裏作に当り、入荷量は前年同期を5%下回った。 価格は、入荷減により前年同期を5%上回った。</p>
ふじ (サン含む)	<p>青森県を中心に、岩手県、秋田県、山形県、長野県からの入荷。 各産地とも豊作で出回り量が多く、大幅な価格低迷から出荷抑制を行い、入荷量は前年同期を14%下回った。 価格は、豊作による供給過剰に加え、下位等級中心の入荷であったことから、入荷減にも関わらず前年同期を17%下回る結果となった。</p>
王林	<p>青森県を中心に、秋田県、岩手県からの入荷。 各産地とも豊作で、小玉傾向での入荷ながら、入荷量は前年同期を7%上回った。 価格は、入荷増に加え、単価の安い小玉傾向での入荷であったことから前年同期を19%下回った。</p>
いちご	<p>熊本県、福岡県を中心に、佐賀県、大分県、長崎県からの入荷。 各産地とも低温等の影響で着色不良が見られたものの、入荷量は前年同期を4%上回った。 価格は、下位等級の割合が高く、前年同期を7%下回った。</p>
アールスメロン	<p>静岡県を中心に、宮崎県、熊本県、高知県からの入荷。 各産地とも昨年の加温用重油高騰によって生産意欲が低下しており、作付面積を減少したことから、入荷量は前年同期を28%下回った。 価格は、大幅な入荷減によって前年同期を18%上回った。</p>